

平成 25 年度
教育委員会の点検・評価報告書
(平成 24 年度事業対象)

平成 25 年 8 月
葉山町教育委員会

目次

1	はじめに	2
2	趣旨	2
3	教育委員会の活動内容について	
	（１）教育委員会会議の開催状況	3
	（２）教育委員会会議での審議状況	3
	（３）教育委員会会議以外の活動状況	3
4	教育総合プラン 学びの基本理念に基づく取組状況	
	（１）基本理念 自立した人間をめざして	13
	（２）基本理念 心豊かに共生できる人間をめざして	19
	（３）基本理念 自然のあらゆることに思いを馳せ、感謝の念を持って 行動できる人間をめざして	23
	（４）基本理念 人類の進歩と発展に貢献できる人間をめざして	25
5	学識経験者による意見	27

1 はじめに

～海とみどりにひろがる交流 文化のまち 葉山～

この町に住む一人ひとりが人間的に豊かで幸福に生きていくためには、一人ひとりの「生涯にわたって学習し続ける意欲」とそれに応える行政の「学習・教育環境の充実」が必要不可欠の両輪であると葉山町教育委員会では考えています。そこで、町教育委員会では、学習することの意義や学ぶ姿勢について、一人ひとりがいつも意識できること、学習意欲の形成に資することができることを教育行政の中心として教育委員会の活動を行っています。

2 趣旨

葉山町教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の趣旨にのっとり、平成24年度を対象として教育委員会の活動内容をとりまとめるとともに、葉山町教育総合プランの重点目標に対する主な施策の点検と自己評価を行い、「教育委員会の点検・評価報告書」（以下「報告書」という。）を作成します。

また、この報告書は、教育に関する学識経験を有する方からご意見を頂戴し、議会に提出するとともに、あわせて公表をします。

参考 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

3 教育委員会の活動内容について

(1) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議については、原則として毎月1回「教育委員会定例会」を開催しています。

平成24年度中は、定例会を12回、また、臨時会を1回開催しました。さらに、教育委員会の会議のほかに、随時、研修会等を実施しています。

- ・教育委員会定例会・・・12回
- ・教育委員会臨時会・・・1回

(2) 教育委員会会議での審議状況・・・資料1

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条及び「葉山町教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則」第2条の規定に基づき、平成24年度は、合計20件の議案について審議を行いました。

(3) 教育委員会会議以外の活動状況・・・資料2

教育委員は、教育委員会会議への出席以外に、町議会、学校視察、各種行事等について、平成24年度は合計で105回出席及び参加しました。

【概要】

議会関係・・・・・・・・・・4回

校長会・教頭会への参加・・・14回

各種行事・大会・・・・・・・・44回

辞令交付式、陸上競技講座、海水浴場開き、成人式、かながわ駅伝他

学校視察・運動会等・・・・・・・・13回

その他会議等・・・・・・・・・・29回

神奈川県町村教育長会総会

神奈川県市町村教育委員会連合会総会・研修会

湘三管内教育長会議他

他団体との交流・・・・・・・・・・1回

寒川町教育委員との意見交流会

資料 1

平成 24 年度 教育委員会審議案件等一覧

【平成 24 年度 教育委員会会議 審議一覧】

議案番号	件 名	提出日
1	葉山町教育委員会事務局の組織等に関する規則の一部を改正する規則について	4 月 18 日
2	葉山しおさい博物館条例施行規則の一部を改正する規則について	4 月 18 日
3	葉山しおさい公園条例施行規則の一部を改正する規則について	4 月 18 日
4	教育施設の工事計画（案）について	4 月 18 日
5	葉山町社会教育委員の委嘱について	4 月 18 日
6	平成 24 年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第 1 号））（案）について	5 月 17 日
7	葉山町教育委員会事務局職員の人事異動について	6 月 21 日
8	平成 25 年度使用小学校教科用図書の採択について	7 月 19 日
9	平成 25 年度使用中学校教科用図書採択について	7 月 19 日
10	平成 24 年度教育委員会の点検・評価報告書（平成 23 年度対象）について	8 月 16 日
11	葉山町教育委員会委員長の選挙について	11 月 15 日
12	葉山町立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について	12 月 12 日
13	平成 24 年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第 7 号））（案）について	1 月 30 日
14	平成 25 年度教育予算（案）について	1 月 30 日
15	葉山町立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について	2 月 27 日
16	葉山しおさい博物館条例施行規則の一部を改正する規則について	2 月 27 日
17	葉山町子ども読書活動推進計画の策定について	3 月 27 日
18	葉山町社会教育委員及び公民館運営審議会委員の委嘱について	3 月 27 日
19	葉山町公立学校教職員の人事異動について	3 月 27 日
20	葉山町教育委員会事務局職員の人事異動について	3 月 27 日

教育委員会会議での審議状況

4月定例会

《議案第1号》葉山町教育委員会事務局の組織等に関する規則の一部を改正する規則について

(趣旨) 葉山しおさい博物館の管理運営の合理化を図るため、係の設置を廃止する。

原案通り承認

《議案第2号》葉山しおさい博物館条例施行規則の一部を改正する規則について

(趣旨) 葉山しおさい博物館利用者の利便性を向上させるため、毎月末日の休館日を開館し、開館時間を1時間増やす。

原案通り承認

《議案第3号》葉山しおさい公園条例施行規則の一部を改正する規則について

(趣旨) 葉山しおさい公園利用者の利便性を向上させるため、開園時間を早め、最終入園時間を30分延長する。

原案通り承認

《議案第4号》教育施設の工事計画(案)について

名 称	予算額
上山口小学校校舎廊下床改修工事	1,012,000 円
長柄小学校校舎トイレ改修工事	2,450,000 円
長柄小学校体育館トイレ改修工事	2,100,000 円
一色小学校公共下水道接続工事	21,987,000 円
葉山中学校グラウンド改修工事	2,300,000 円

(趣旨) 規則により、予定価格100万円以上の工事について計画内容を審議する。

原案通り承認

《議案第5号》葉山町社会教育委員の委嘱について

(趣旨) 任期満了に伴う社会教育委員の任命をする。

原案通り承認

5月定例会

《議案第6号》平成24年度葉山町教育予算(一般会計補正予算(第1号))(案)
について

歳出

事業名	補正予算額	説明
小学校耐震整備事業	4,316,000円	一色小学校新館耐震補強工事 実施設計業務委託
美術品展示事業	1,027,000円	美術品保管管理業務委託、美術品保管輸送委託、展示輸送委託

(趣旨) 町議会において、上記補正予算に係る議決を経ることについて意見の申し出を行う。

原案通り承認

6月定例会

《議案第7号》葉山町教育委員会事務局職員の人事異動について

(趣旨) 規則により人事案件の審議をする。

原案通り承認

7月定例会

《議案第8号》平成25年度使用小学校教科用図書の採択について

(趣旨) 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に基づき使用教科用図書の採択をする。

現在使用している教科書を引き続き採択することです承

《議案第9号》平成25年度使用中学校教科用図書の採択について

(趣旨) 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に基づき使用教科用図書の採択をする。

現在使用している教科書を引き続き採択することです承

8月定例会

《議案第10号》平成24年度教育委員会の点検・評価報告書(平成23年度対象)
について

(趣旨) 規則により教育委員会の点検・評価報告書の審議をする。
原案通り承認

9月定例会

- 1 「教育委員会の点検・評価報告書」の議会報告について
- 2 「葉山町青少年創意くふう展」について
- 3 国指定史跡 10 周年長柄桜山古墳群出土品展

10月定例会

- 1 寒川町教育委員との意見交換について
- 2 「学校防災計画」について
- 3 葉山しおさい公園無料開放について
- 4 葉山小学校の社会見学(図書館)について
- 5 図書館展示について

11月定例会

《議案第 11 号》葉山町教育委員会委員長の選挙について

(趣旨) 平成 24 年 11 月 30 日をもって任期満了する教育委員長の選任。

委員長 鈴木伸久委員

12月定例会

《議案第 12 号》葉山町立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について

(趣旨) 学校教育法第 35 条第 1 項の規定による出席停止について、校長からの意見書に基づき、教育委員会が出席停止を命じ保護者からの意見聴取を行うこととした。

1月定例会

《議案第 13 号》平成 24 年度葉山町教育予算(一般会計補正予算(第 7 号))(案)について

歳出

事業名	補正予算額	説明
教育センター維持管理事業	2,616,000 円	電気代・水道代不足分、ロスナイ修繕

事業名	補正予算額	説明
小学校管理事業	1,829,000 円	電気代不足分
給食施設運営事業	181,000 円	計量器 100kg 計量用 (葉山小学校、一色小学校)
中学校管理事業	1,583,000 円	電気代不足分、南郷中学校非常用放送設備更新
図書館運営費	242,000 円	電気代不足分
葉山しおさい公園管理事業	459,000 円	電気代不足分

(趣旨) 町議会において、上記補正予算に係る議決を経ることについて、意見の申し出を行う。

原案通り承認

《議案第 14 号》平成 25 年度葉山町教育予算(案)について

(趣旨) 町議会において、平成 25 年度予算に係る議決を経ることについて、意見の申し出を行う。

原案通り承認

2 月定例会

《議案第 15 号》葉山町立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について

(趣旨) 町民の利便性の向上のため、毎月第 2 木曜日の館内整理日を開館とする。休館日の記載について、土・日・祝日は開館している現状に即した記述にする。

原案通り承認

《議案第 16 号》葉山しおさい博物館条例施行規則の一部を改正する規則について

(趣旨) 休館日の記載について、土・日・祝日は開館している現状に即した記述にする。

原案通り承認

第 1 回臨時会

- 1 葉山町公立学校教職員の人事異動について
- 2 葉山町教育委員会事務局職員の人事異動について

3月定例会

《議案第17号》葉山町子ども読書活動推進計画の策定について

(趣旨) 子ども読書活動の推進に関する法律第9条第1項を受け、葉山町子ども読書活動推進計画を策定する。

原案通り承認

《議案第18号》葉山町社会教育委員及び公民館運営審議会委員の委嘱について

(趣旨) 任期満了に伴う社会教育委員の任命をする。あわせて公民館運営審議会委員の任命をする。

原案通り承認

《議案第19号》葉山町公立学校教職員の人事異動について

(趣旨) 規則により人事案件を審議する。

原案通り承認

《議案第20号》葉山町教育委員会事務局職員の人事異動について

(趣旨) 規則により人事案件を審議する。

原案通り承認

資料 2

教育委員会会議以外の活動状況

	各種行事・大会	そ の 他
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 辞令交付式 ・ 陸上競技講座 ・ 体育協会総会 ・ 青少年指導員委嘱式 ・ スポーツ推進委員委嘱式 ・ 春の交通安全運動キャンペーン 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長会 ・ 教頭会 ・ 県市町村教育委員会連合会総会 ・ 初任者研修会
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陸上競技講座 ・ 体育祭（南郷中学校） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 租税教育推進協議会 ・ 校長会 ・ 湘三管内教育長会議 ・ 県町村教育長会春の総会並びに春季研究会 ・ 関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 葉山町民マラソン ・ 運動会（上山口小学校） ・ 運動会（長柄小学校） ・ 学校視察（葉山中学校） ・ 学校視察（ことばの教室） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町議会 ・ 校長会 ・ 障害児就学支援委員会 ・ 青少年問題協議会 ・ 葉山町 P T A 研修会
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海水浴場開き ・ 夏の交通事故防止キャンペーン ・ 草津町親善水泳教室 ・ 町長と語る会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長会 ・ 文化財保護委員会 ・ 葉山被害者支援ネットワーク総会 ・ 三浦半島地区教育長協議会総会及び視察
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヨット体験講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県市町村教育委員会連合会役員会 ・ 湘三管内教育長会議 ・ 町村教育長会議 A ブロック研究会
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合防災訓練 ・ 体育祭（葉山中学校） ・ 葉山町青少年創意くふう展 ・ 秋の全国交通安全運動街頭キャンペーン ・ 学校視察（南郷中学校） ・ スポーツオーブンデー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町議会 ・ 校長会 ・ 青少年問題協議会

	各種行事・大会	そ の 他
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会（一色小学校） ・運動会（葉山小学校） ・学校視察（長柄小学校） ・逗葉地区青少年音楽祭 ・南郷中学校吹奏楽演奏会 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長会 ・南郷中初任者研修会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・学校視察（一色小学校） ・戦没者慰霊祭 ・町民剣道大会 ・県立近代美術館葉山 アントニー・ゴームリー作品ツアー ・しおさい公園無料開放 ・葉山町文化祭 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長会 ・県市町村教育長会連合会総会 ・県市町村教育委員会連合会研修会 ・一色小初任者研修会 ・障害児就学支援委員会 ・寒川町教育委員との意見交流会
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・人権を考える集い ・年末の交通事故防止運動街頭キャンペーン 	<ul style="list-style-type: none"> ・町議会 ・葉山小初任者研修会 ・校長会
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・出初式 ・武道始式 ・成人式 ・町小中学校作品展 ・葉山町民駅伝 ・三浦半島駅伝 ・学校視察（葉山小学校） ・学校視察（上山口小学校） 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長会・教頭会兼研修会 ・湘三管内教育長会議 ・湘三管内校長研究会 ・障害児就学支援委員会 ・県町村教育長会宿泊研究会
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・かながわ駅伝 ・防災会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・町議会 ・校長会 ・臨時校長会 ・県・市町村教育委員会教育長会議
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校卒業式 ・中学校卒業式 ・辞令伝達式、辞令交付式 ・ジュニアリーダー養成講座修了式 ・町民大学 ・スポーツ指導員会議 ・津波対策合同訓練 ・アントニー・ゴームリープロジェクト報告会 ・そうだったのか！葉山の歴史展 ・クロシェット・ド・レ・HAYAMA 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長会 ・青少年問題協議会 ・教頭会 ・湘三管内教育長会議

4 教育総合プラン 学びの基本理念に基づく取組状況

学習は、個人が自発的意思に基づいてより良く生きるためになされるものです。それにより一人ひとりの身体的・知的・情緒的・社会的行動が進歩し、調和のとれた人格が形成されます。また、教育は、一定の社会において個人に他から働きかけ、社会生活に必要な能力や資質を発達させる営みです。つまり「学習は自分づくり、教育は人づくり」といえます。

そこで、普遍的なこと、及び、現在の社会背景から生じている課題やこれから特に求められているであろうことを考慮しながら、学びを通してめざす人間像についての基本的な考え方を『基本理念』としました。そして、それを実現するために重点的に取り組むべき教育のあり方を『教育の重点』とし、今後の教育施策の基本方針としています。

この報告書においては、これら教育総合プランの4つの基本理念ごとに点検・評価を行い、主な活動状況、教育委員会での評価についてまとめました。

(1) 基本理念 自立した人間をめざして

重点：	家庭教育を充実しよう	特別支援教育を大切にしよう
	幼児教育を充実しよう	健康生活を推進しよう
	学校教育を充実しよう	学びの場を充実しよう

【平成 24 年度の重点取組】

<教育総務課>

耐震整備事業

平成 24 年度の耐震整備事業としては、一色小学校新館の耐震補強の実施設計を行いました。今後は工事を実施していきます。また、上山口小学校旧校舎についても、方向性を決定していきます。

なお、児童・生徒が使用している学校施設は、平成 22 年度に耐震補強工事が終了し、耐震化率が 91.7%となっています。

<学校教育課>

町費教員の配置

各小中学校 1 人、計 6 人を配置したことに加え、中 1 ギャップの解消や未然防止及び教育課程における小・中学校の連携の推進を目的とした町費教員を 2 人配置し、充実化を図りました。

(合計人数：8 人、主な教科：算数・数学、英語、理科等)

* 町費教員

安定した情緒のもとで確かな学力の向上を図るため、町費で任用する教員。専門的な教科の学習指導や、少人数指導・チーム・ティーチング (T T) など、学習の目的や習熟の程度に応じた指導を実施している。

* 中 1 ギャップ

中学校への進学にあたり、学校生活や友人関係の急変や、心身の急激な発達により、不安定になること。文部科学省の調査では、不登校、暴力、いじめが、小学生に比べ中学 1 年生から急激に増えている。

教育相談体制

教育相談体制を充実するため、各小中学校にスクールカウンセラー、心の教室相談員 (中学校のみ) を配置するとともに、教育研究所に教育相談員を配置しました。

また、平成 2 3 年度に引き続き県から派遣されたスクールソーシャルワーカーサポーター (スクールソーシャルワーカーの補助者) を配置しました。

相談件数（件）

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
教育研究所	941 件	1,011 件	971 件
スクールカウンセラー	938 件	375 件	435 件
心の教室	529 件	860 件	1,237 件

不登校（人）・いじめ（件）

	平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
不登校	8	24	3	16	9	12
いじめ	8	14	5	2	14	12

特別支援教育

各小・中学校においては自立に向けて、特別な配慮を必要とする児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育の充実を図るため、校内の支援体制の整備や、適正な障がい児就学プロセスの保持、教職員の研修等を進めてきました。

また、葉山町発達支援システムにより、さらに教育と福祉の連携が密になり、協同で個別ケース会議を開くなど、学校におけるより適切な指導や支援に生かされています。

* 葉山町発達支援システム

発達障がい児者及び特別な支援を必要とする児者の早期発見、早期の発達支援を図るとともに、保健・福祉・医療・教育等が連携して一貫した相談・支援を行うためのシステム。平成 22 年 4 月制定。

防災教育

葉山町学校防災計画を改定し、これを基に各学校が学校防災マニュアルを見直すとともに、地震・火災を想定した訓練、予告なし訓練、引渡し訓練などを想定し、年 4～5 回程度実施しています。さらに葉山小、一色小では津波を想定した高台等への避難訓練を実施するなど防災教育・避難訓練も実施しています。

<生涯学習課・しおさい博物館>

「葉山町民大学」の開催(全5回)

生涯学習の一層の充実を目指し、町民の高度な学習要求に応えるために、関東学院大学と提携し、学習機会の充実を行いました。

(対象 : 町内在住・在勤者 参加者 : 延べ 96 人)

テーマ : 「日本の歴史と地域文化を学ぶ」)

主な講座内容「鎌倉密教」

「幕末の代官・江川太郎左衛門英龍」

しおさい公園・博物館の充実

入場者 2 万人を目標とし、来園・来館される方々により親しまれ、喜んでいただける施設を目指し、抜本的改革を行い、入場者 2 万 2 千人を達成しました。

主な内容

開園閉園時間の改正

所蔵美術展等各種展示会の開催

ホームページ「しおさい公園だより」の充実

しおさい博物館展示解説及び学習支援

町内小中学校児童・生徒を対象に、展示解説・自由研究の相談を行いました。

(参加者 : 351 人)

しおさい博物館学芸員実習

学芸員資格取得に必要な博物館実習を行いました。

(参加者 : 2 人)

神奈川県立近代美術館葉山・山口蓬春記念館との合同見学会を行いました。

しおさい博物館・神奈川県立近代美術館葉山・山口蓬春記念館と合同で見学会を行いました。

(全 2 回開催、参加者 : 72 人)

<図書館>

ブックスタート

子ども育成課の実施する乳児(4か月)検診時に保健センターで乳児と保護者に絵本の読み聞かせや図書館の紹介をして読書の楽しさを知らせる動機付けを図りました。(毎月第1木曜日、参加者 : 209 組)

おはなし会

おはなしコーナーで絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊び等を行い幼少時から読書に興味を持ってもらうよう「おはなし会」を行いました。(毎週水曜日、参加者 833人)

社会見学・職場体験学習

見学のしおりを作成して小学校3年生の社会見学で施設の紹介をしました。(葉山小学校3年生、4クラス 135人)
中学校2年生の職場体験学習の受入れをして、日常業務の実習をしました。(久木中学校1日2人、南郷中学校2日間4人、葉山中学校2日間4人、逗子中学校1日2人、沼間中学校2日間2人)

【評価】

耐震整備事業につきましては、平成22年度をもって、児童・生徒が使用している建物の耐震補強工事が終わっており、耐震化率としては、全体で91.7%となっています。平成24年度に一色小学校新館耐震補強の実施設計を行いました。平成25年度は、確実に工事を完了させる必要があります。また、上山口小学校旧校舎は、平成25年度中に方向性を定めることとします。

教育環境の充実のため、学校の各種設備については、安全安心を第一に整備、点検を実施していく必要があります。

学校教育の充実については、町費教員が安定した情緒のもと確かな学力の向上を図るとともに、その専門性を生かし自由研究の指導を積極的に進めた結果、例えば第46回県青少年科学作文コンクールで知事賞を受賞するなど、児童・生徒の思考力、判断力、表現力の育成に努めました。また、中1ギャップの解消や未然防止、教育課程における小・中学校の連携を推進するため、前年度後期は小学校に勤務し、翌年度前期は6年生が進学した中学校に勤務する町費教員の配置を行い、小学校と中学校の授業の接続に関する研究を進めました。

今後も、学校教育をより一層充実させ、小学校と中学校の教育課程における連携を進めるために、人員や時間数を増やすなど、さらなる教育条件整備に努める必要があります。

近年の様々な相談に対応するため、スクールカウンセラーや心の教室相談員、教育研究所相談員に加え、スクールソーシャルワークサポーターを派

遣し、きめ細かな教育相談体制を維持しています。これにより、中学校における不登校生徒が減少するなど、成果が見られます。いじめについては、いつでもどこでも起こりうるという認識に立ち、早期発見、早期対応がいじめ解消の鍵となることから、程度の大小ではなく、どんな小さいいじめも見逃さないよう学校を指導しているところです。そのため、認知件数は増えましたが、すべて解消しています。また、平成24年度は、心の教室相談員がスクールソーシャルワークサポーターを兼務したことにより相談がしやすくなり、相談件数が増加したと思われます。

今後も子どもの心の安全・安心のため、教職員と一体となり、体制を維持しつつ推進していくことが望まれます。

特別支援教育については、葉山町発達支援システムの発足にともない、福祉と教育の連携のもと、相談支援ファイルを支援のツールとして周知、活用するとともに、教育と福祉が連携し、日々の情報交換のほか、ケース会議を開くなど、より児童生徒一人ひとりのニーズに対応した支援を進めています。各小・中学校においては介助員を派遣し、きめ細やかな教育支援が行われました。今後は、教職員の研修等を通じて指導計画の実効性を高めていくことと、適正な障がい児就学プロセスの保持が、重要だと思われます。

3.1.1 東日本大震災を受け、葉山町教育委員会として学校防災計画の策定をしました。また、各小・中学校では、同計画を基に学校防災マニュアルを見直すとともに、津波を想定し校舎の屋上や高台への避難を取り入れた訓練を実施するなど、あらゆる災害に対応できるよう取組を開始しております。訓練等を通して課題を明らかにし、よりよい防災教育・避難訓練を実施していくことが重要です。

インターネット等の普及が目覚ましい昨今、「実物」を目の当たりにし、学芸員から指導や研修を受けることのできる博物館は、町内でも数少ない視聴覚教育施設として、児童・生徒の学校教育過程のみならず成人の生涯学習の場としても更に活用を広げていくべきだと思われます。また、地域博物館の特色である地元ならではの多くの資料を取り扱うことにより、郷土教育の一旦を担う基盤的存在としての機能も大いに期待されます。

町内既存の博物館などの諸施設が今後もより一層充実し、町民一人ひとりの「学びの場」として大いに活用されることが望まれます。

生涯学習については、毎回多くの受講希望者があり、人気の高い「葉山町民大学」を開催し、学びの場の充実を図りました。今後は、受講生のアンケート結果や要望を踏まえ、町民大学のテーマ設定など、今まで以上の充実を図る

必要があります。また、しおさい公園・博物館は各種展示会を開催するほか、園内全ての管理も向上し、その効果が表れ活性化が伺え、さらなる入場者増を期待します。

乳幼児の時期になると、おはなしや絵にたいへん興味を示します。その頃に絵本の読み聞かせをすることで、読書の楽しさを知らせます。成長と共に、紙芝居や手遊びなどを加え、読む力・聞く力を養います。また、小・中学生に図書館の業務なども紹介し、生涯学習の場として「地域の図書館」の役割を担っていく必要があります。

(2) 基本理念 心豊かに共生できる人間をめざして

重点： 社会性を育てよう
学校間・校種間交流を促進しよう
地域・世代間交流を促進しよう
国際的な視野にたつ人間を育てよう

【平成 24 年度の重点取組】

<学校教育課>

小・中学校の連携

進学に備え、小学校 6 年生が中学校を訪問し、学校生活の概要や部活動の見学・体験を行いました。

教育研究所では町費教員の協力の下、小中連携に関する連絡会を 9 回開催し、今後のよりよい連携に向け、課題を整理し研究を進めました。

「わかる！算数教室」の開催

葉山町教育研究所が主体となり、小学校 6 年生を対象に「わかる！算数教室」を 5 日間開催し、延べ 165 人が出席しました。教材は、小学校 6 年生の復習問題を中心として、中学校でつまずきそうな範囲を想定し、例題・問題を作成しました。

小学校外国語活動・中学校英語教育

平成 23 年度から完全実施された新学習指導要領において、小学校 5、6 年生では外国語活動が必修となりました。これに併せ、町小学校外国語活動研究会では、中学校英語教員と協同で、共通教材を作りました。

また、充実した活動や授業が行えるように、各小・中学校へ A L T を派遣すると共に、各小学校へはボランティアによる外国語活動サポーターを派遣しました。

* A L T (Assistant Language Teacher)

ネイティブスピーカーの外国語指導助手

地域連携による学習の推進

地域との協同・連携を進め、葉山町の自然や環境・歴史・文化・社会活動などに関わる体験学習を推進しました。

<生涯学習課>

ジュニアキャンプ

夏休み中に国立中央青少年の家(御殿場市)でジュニアキャンプを開催し、他の学校の同年代の仲間や異世代の青少年指導員やジュニアリーダーとのふれあいを通して、集団生活における協力やルールを守る大切さを学び、自主性・協調性を育みました。

(参加者：小学5,6年生 47人)

各種生涯学習体験事業

「葉山自然観察隊」・「さわやか体験学習」では、子どもたちに自然とふれあいながら、様々な体験活動をさせました。「葉山自然観察隊」では、芝崎ナチュラルリザーブにおいて磯の生き物にふれながら拾った自然物で工作を楽しんだり、作った作品を鑑賞し合ったりし、「さわやか体験学習」では、青少年指導員の指導の下、「バスボム(入浴剤)」作りを行いました。

(葉山自然観察隊 参加者：小学3~4年生 25人)

(さわやか体験学習 参加者：小学3~6年生 77人)

逗葉地区青少年音楽祭

葉山中学校・南郷中学校・逗子中学校・久木中学校・沼間中学校・逗葉高校・逗子高校の吹奏楽部が、葉山町福祉文化会館において合同演奏会を実施し、音楽を通じて交流を深め、音楽活動の振興と青少年の健全育成を図りました。

スポーツ体験講座

小・中学生を対象に、陸上競技講座・ソフトボール講座等を行い、町内の児童・生徒の体力向上と、健全なる青少年の育成を図りました。

(対象：町内の小学生 陸上競技 111人、ソフトボール 17人、剣道 24人)

ジュニアリーダー活動

青少年自ら進んで社会へ参加するための場作りとしてジュニアリーダー養成講座に参加し、レクゲームやウォーキングゲームを習得し、リーダーとしての資質の向上を図り、葉山町ジュニアリーダーズクラブに加入し、地域活動が図れるよう指導育成を行いました。

(ジュニアリーダー養成講座 参加者：22人 11月~3月 全7回)

<図書館>

展示及び特集コーナーの資料紹介

毎月テーマを決めてエントランスコーナーや特集の本棚で資料紹介を図り

ました。夏休みは宿題に役立つ本の紹介や中学生向けのブックリストを作成しました。 テーマ：4月 平家物語、5月 町所蔵美術展、6月 昨年よく読まれた本、7月 スポーツ・オリンピック、8月 貝の動物園、9月 長柄桜山古墳群出土品展、10月 あなたのための料理本、11月 人権、12月 季節の行事、1月 町所蔵美術展、2月 そうだったのか！葉山の歴史展、3月 こんな本あるよ

【評価】

現在の少子化、核家族化の中で、心豊かに共生できる人間を育成するためには、さまざまな集団生活、人とのふれあいを通じ、学校・家庭・地域社会の三者が一体となり、子どもたちに社会のルール、マナー、自制心や責任感などを身につけさせていかなければなりません。校種間交流として、小学校6年生が中学校を訪れ、中学校の生徒会から学校紹介や部活動紹介を受けることで、中学校入学への希望を抱くことができ、今後も継続が望まれます。また、町立保育園児が小学校の音楽の授業に参加し、ともに合奏することで、互いのよさを感じ取ることができ、小学校への期待を大きくすることのできる行事として評価できます。

小・中学校の連携に向けての取り組みでは、小中学校9年間を見通した教育活動を推進するため、教育研究所が中心となり、小学校での児童の様子、中学校での学習面の不安等を把握し、教育課程の研究を進めてきました。

教育研究所が主体となり、小中連携推進の一環として、中学校進学を控えた小学校6年生を対象に、春休みに「わかる！算数教室」を開催しました。参加者や保護者から「進学への不安がなくなった」、「小学校算数の忘れていたところが思い出せた」等の感想が寄せられ好評でした。今後に向け、課題を整理し、教材や授業方法に改善を加え、充実した教室を開催していく必要があります。

- 南郷中学校では、「葉山のよい暮らしを発見する活動」として、FGC (Find「発見する」、Good Life「よい暮らし」、Community「地域」) 活動が定着するとともに、葉山中学校でも「ふれあい講座」を行い、葉山まちづくり協会やボランティアセンター等の協力を得るなど、地域との協同・連携を進め、葉山町の自然や環境・歴史・文化・社会活動などに関わる体験学習をすすめており、礼儀・マナーの習得も含め、学習の深まりが感じられます。

小学校外国語活動・中学校英語教育の充実に向けての取り組みでは、小学

校外国語活動研究会が中学校英語教員と連携し授業研究を行いました。また、小学校外国語活動の本格実施にあわせ、ALT派遣や小学校外国語活動サポーターの協力により、子どもたちが積極的にコミュニケーションを図ろうとするなど、授業が充実してきました。文部科学省から配布されていた「英語ノート」が改訂されたため、今後よりよい副教材等の開発を行っていく必要があります。

また、生涯学習の青少年育成の場として、ジュニアキャンプやジュニアリーダー活動などを通じて、学校間・校種間交流の充実を図りました。今後も継続が望まれます。

毎月テーマを決めて、本や写真、日頃、目に触れることのない貴重な資料なども展示し、読書推進の拡大を図りました。また、各関係機関の協力を得て町民の研究や製作等の発表の場として活用しました。今後も「地域の情報の拠点」として努めることが望まれます。

(3) 基本理念 自然のあらゆることに思いを馳せ、感謝の念を持って行動できる人間をめざして

重点： 身近な視点から環境を考える力をつけよう
自然環境を汚さない行動力をつけよう
地球・生命を愛する心を伝えよう

【平成 24 年度の重点取組】

<学校教育課>

環境教育

学校給食の牛乳パックを再資源化するために、町内全小・中学校において、児童・生徒自身が解体・洗浄に取り組んでいます。

また、町環境課と連携し、生ごみ処理器「キエーロ」を各学校に設置し、活用しています。

<生涯学習課>

自然体験イベントの開催

イベントを開催し、海や川の生物・植物・動物等を調査・観察し、地域に生存する動植物にふれあうきっかけ作りを行いました。

(参加者：小学校3年生から中学生)

文化財体験イベントの開催

町の天然記念物である芝崎ナチュラルリザーブ、長柄桜山古墳群で観察会や展示会、講演会を開催し、町の文化財についてふれあうきっかけ作りを行いました。また、文化財啓発として、葉山町文化財研究会の協力により「文化財講座」を実施しました。

文化財講座 参加者 29人 全5回

古墳講演会 参加者 131人

古墳展示会 9月～11月 図書館、しおさい博物館

【評価】

身近な給食の牛乳パック再資源化に児童・生徒が自ら参加することや、家庭科の調理実習等で出た生ごみを「キエーロ」で処理すること、一部学校で導入された給食用生ゴミ処理機により生成された肥料を花壇に活用することなどを通して、日常取り組んでいるごみの分別・減量などとともに、環境への意識が高まりました。

また、給食から出る総生ごみ量の76～80パーセントを生ごみ処理機に投入

することにより、搬出するごみの量が減りました。(長柄小学校年間総生ごみ量 2,273kg 生ごみ処理機投入量 1,820kg 搬出量 453kg 投入率 80%。一色小学校年間総生ごみ量 3,579kg 生ごみ処理機投入量 2,717kg 搬出量 862kg 投入率 76%)

各学校の環境にあわせて、地域の自然環境と人材を生かし、稲作体験や、水辺の環境調査、葉山メダカの飼育、漁業組合や民間の研究所の協力によるアマモなどについて学習する活動が定着してきました。水辺の環境教育については県のホームページの学習事例に掲載されるとともに、アマモの学習は以前テレビでも紹介されました。また、野鳥の会と連携した野鳥教室を開催しました。今後も「葉山の自然研究会」などにおいて、よりよい教育効果を研究していく予定です。

青少年事業「葉山自然観察隊」では、町の文化財である芝崎の磯「ナチュラルリザーブ」に生息する生き物とのふれあいや観察を通して、自然の豊かさや生き物同士の密接な関わり(生態系)について学ばせ、生き物を愛する心や自然環境を大切に作る心を育てています。今後は、「感謝の念をもてるモラルあふれた人間性の育成」に向け、さらに踏み込んだ取り組みを検討していく必要があります。

(4) 基本理念 人類の進歩と発展に貢献できる人間をめざして

重点： 家庭から地域（葉山）へ、そして世界へ
社会変化に対応する力を育てよう
新たな教育にチャレンジしよう

【平成 24 年度の重点取組】

<学校教育課>

情報教育

デジタルテレビや電子黒板といった ICT 機器を使った授業について、研究や研修、実践を行いました。また、児童・生徒に携帯電話の正しい活用法を習得させるため、児童生徒指導担当や携帯電話会社とも協力し、情報モラル教育に関する授業を行いました。

また、広域での効果的な情報教育を研究している、横須賀市、三浦市、葉山町からなる「三浦半島地区教育ネットワーク協議会」に、平成 24 年度から逗子市も加わり、市町を越えて研究会や研修会を開催しました。

職場インタビュー・職場体験学習の実施

子どもたちが学校、家庭・地域社会において、勤労や職業に積極的に関わりながら将来自立した社会人となるため「学ぶこと」や「働くこと」の意義について考えることができるように、中学校で職場インタビュー・職場体験学習を実施しました。

小中学校作品展

各学校の教育活動を基にして、その成果発表の場として、小中学校作品展を開催しました。来場者 1,833 人。

【評価】

現在の情報化社会では、ICT 機器の使用に関わり、その利便性とともな危険性についての教育が必要です。それらを踏まえ有効に活用することにより、現代に合った情報教育への可能性が期待されるとともに、常に新たな課題への対策が必要となりますが、近隣市町と連携を深めることで、情報教育の研究がより充実したものとなりました。また、県教育研究所連盟研究協議会情報教育部会を葉山町が主催し、学年別指導計画及びロボットを活用した情報教育について発表し、県内各地からの参加者から好評を博しました。

今後も連携の下、めまぐるしく変わる ICT 環境に合わせ、最新の情報を学校現場へ提供していくことが必要です。また、携帯電話、スマートフォン

等情報端末を所有する小中学生の増加に伴い、その使用についての情報モラル教育の必要性が高くなっています。既に、学校では企業貢献活動による児童・生徒、保護者を対象とした研修会を実施していますが、購入時に児童・生徒、保護者がよりよい使用に関する約束をすることも大切であることから、学校と保護者が連携して対策を講じることが大切です。

職場インタビューや職場体験学習を実施することは、子どもたちが「学ぶこと」や「働くこと」の意義を理解するとともに「生きる力」を身に付け、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力を高め、それぞれが将来直面するであろう様々な課題に柔軟にかつたくましく対応し、社会人・職業人として自立した人を育てる一助になっていて、評価することができます。しかし、職場体験を受け入れる事業所の負担について、配慮する必要があります。

小・中学校作品展では、他校の作品を見ることで、児童・生徒がお互いのよさを認め合うとともに、創作意欲の向上や進級・進学への期待を持てる機会となっています。また、来場者は1,800人を超え、地域の方々からも教育活動を知る機会として好評であり、継続が望まれます。

5 学識経験者による意見

「教育委員会の点検・評価報告書」についての所見（平成 24 年度対象）

原田 淳子（元葉山町立長柄小学校長）

1 教育委員会の活動内容について

(1) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議は、平成 24 年度は月 1 回、計 12 回の教育委員会定例会と、1 回の教育委員会臨時会開催が報告されている。

(2) 教育委員会会議での審議状況

審議案件名等については、議案番号 1「葉山町教育委員会事務局の組織等に関する規則の一部を改正する規則について」から、議案番号 20「葉山町教育委員会事務局職員の人事異動について」まで合計 20 件である。

(3) 教育委員会会議以外の活動状況

教育委員の教育委員会会議の出席以外に 105 回の出席・参加については、そのご尽力に敬意を表したい。校長会・教頭会(14 回)は教育長だけの参加が推察できるが、各種行事・大会(44 回)と学校視察・運動会等(13 回)については、教育行政と教育現場あるいは地域との連携がより一層強くなっているという意味合いからも、高く評価できる。

また、他団体との交流は、今後の継続と広がりを期待したい。

2 教育総合プラン目標ごとの取り組み状況について

平成 20 年(2008 年)5 月策定の『葉山町教育総合プラン』に示されている『基本理念』ごとに点検・評価を行い、主な活動状況・教育委員会の評価が示されている。

(1) 基本理念 自立した人間をめざして

<教育総務課>

耐震整備事業について

平成 24 年度の耐震整備事業として、一色小学校新館の耐震補強の実施設計が行われたことは評価できる。しかし、上山口小学校旧校舎の耐震整備が進んでいないことは、非常に残念である。耐震化率が 91.7%となっていることには、葉山町の教育予算を考えるとその努力は推察できるものの、「ここ葉山の地にも

いつ大地震が起きてもおかしくない!」と言われている現在、教育行政の責務として、耐震化率 100%を目指してほしい。

<学校教育課>

町費教員の配置について

町費教員の小・中学校への派遣は、基本理念の重点を具体化したもので高く評価できる。特に、中 1 ギャップの解消・防止及び教育課程における小・中学校の連携を推進するための町費教員を配置したことと、配置の方法のきめ細かさは、高く評価したい。今後の継続が望まれる。

教育相談体制について

スクールカウンセラーの相談件数が平成 23 年度・24 年度ともに 22 年度の半数になった一方、「心の教室」の相談件数が大きく増加していることから、スクールカウンセラーに相談するような重篤な相談が減り、その相当件数分程度が、相談のしやすい心の教室相談員への相談になったと考えられる。今まで学校とともに教育相談体制の充実に取り組んできた成果であると思われるが、今後も心の教室相談員、スクールカウンセラー、学校、教育委員会等、関係機関との連携を密にし、教育相談体制の充実により一層努めていってほしいと思っている。

特別支援教育について

すべての小・中学校において、特別な支援を必要とする児童・生徒の自立に向けて、教育的ニーズに応じた指導の充実を図るための校内支援体制の整備や適正な障がい児就学プロセスの保持、教職員の研修等が進められていることは、大いに評価できる。

また、教育と福祉の連携による個別ケース会議開催など様々な特別支援教育の体制は、基本理念の重点を具現化した葉山町ならではのものと、大きな拍手を送る。

今後は、普通級在籍ではあるものの支援を必要としている児童を含めて、実態に合わせた支援教育と、介助員の配置人数等、学校の要望に基づく更なる充実を期待している。

防災教育について

葉山町防災計画の改定を基に、各学校で防災マニュアルを見直すと共に様々な内容を想定した訓練及び防災教育も実施されていることは高く評価できる。

<生涯学習課・しおさい博物館>

「葉山町民大学」の開催について

関東学院大学との連携による町民大学は 5 回も開催され、内容も充実したもので参加者も多く、高く評価できる。

しおさい公園・博物館の充実について
改革の効果が表れており、更なる入場者増を期待します。

しおさい博物館展示解説及び学習支援

しおさい博物館学芸員実習

神奈川県立近代美術館葉山・山口蓬春記念館との合同見学会

～ については、博物館の使命の一つである地域社会への支援活動として参加者も多く、「葉山らしさ」を生かした活動であることを高く評価したい。

<図書館>

ブックスタート

おはなし会

・ については、活字離れが進んでいる状況の中、幼い頃から読書に興味を持ってもらい、読書の楽しさを知らせる機会として、高く評価できる。参加者も多いので今後の継続が望まれる。

社会見学・職場体験学習について

町内の小・中学生だけでなく、他地域の中学生の体験学習を受け入れたことは、今後の交流を含め、継続したいことと評価したい。

(2) 基本理念 心豊かに共生できる人間をめざして

<学校教育課>

小・中学校の連携についてと 「わかる！算数教室」の開催について

教育研究所が小中連携に関する連絡会を9回も開催した上、中学進学を目前に控えた6年生を対象に、5日間で延べ165人もの参加者がいた「わかる！算数教室」を開催したことに、大きな拍手を送りたい。

小学校外国語活動・中学校英語教育について

平成23年度から完全実施された学習指導要領において必修となった小学校5・6年の外国語活動に合わせて、小学校教員が中学校英語教員と協同で共通教材を作ったことは高く評価できる。また、充実した活動や授業に向けての、各小・中学校への外国語指導助手と各小学校への外国語サポーター(ボランティア)の派遣も、上記重点の具現化として高く評価したい。

地域連携による学習の推進について

葉山の自然や歴史・文化等に関わる体験学習は重点を具現化するためにも、今後の継続と発展を期待したい。

<生涯学習課>

ジュニアキャンプと ジュニアリーダー活動について

参加者も多く、地域・学校・学年の枠を超えた仲間や青少年指導員たちとのふれあい・交流によりリーダーとしての資質の向上が図られている活動なので、今後の継続・発展を期待している。

各種生涯学習体験事業について

「葉山自然観察隊」の芝崎ナチュラルリザーブにおける活動も「さわやか体験学習」も、葉山の自然の素晴らしさを実感し、自ら色々な体験をする意義深い活動であるので、今後の拡大を期待したい。

逗葉地区青少年音楽祭と スポーツ体験講座について

心豊かに共生できる人間をめざす基本理念に則している大事な活動に、エールを送りたい。

- (3) 基本理念 自然のあらゆることに思いを馳せ、感謝の念を持って行動できる人間をめざして

<学校教育課>

環境教育について

学校給食の牛乳パック再資源化のための児童・生徒の取り組みの上に、町環境課との連携により、生ごみ処理器「キエロ」をすべての学校に設置したことは、高く評価できる。ごみの分別・減量を授業の中で実践することにより、環境への意識の高まりと家庭への広がりや定着が期待できる。

<生涯学習課>

自然体験イベントの開催と 文化財体験イベントの開催について

町の天然記念物である芝崎ナチュラルリザーブでの自然とのふれあいや、長柄桜山古墳群での観察会等は、葉山の文化・自然を大切にすることを育む実践的な活動で、基本理念 にふさわしいものと、拍手を送りたい。今後の継続を願っている。

- (4) 基本理念 人類の進歩と発展に貢献できる人間をめざして

<学校教育課>

情報教育について

今日的課題の一つであるICT機器の有効活用について、児童・生徒が携帯電話についても正しい活用法を習得するため、携帯電話会社とも協力して、情報モラルや危険性についての授業が行われたことは、高く評価したい。今後も継続しての学習が望まれる。

職場インタビュー・職場体験学習の実施について

中学生の職場インタビュー・職場体験学習は、重点の「家庭から地域へ、」を

具現化した活動として高く評価するとともに、受け入れてくださる職場の皆さまのご協力に感謝したい。

小中学校作品展について

小・中学校の教育活動の成果を発表する場としての作品展が、他校の児童・生徒との交流の場にもなっており、来場者1,833人ということから地域の皆さまの楽しみにもなっていることが推察され、継続と発展を期待している。

3 『報告書』を読んだの所感

はじめに、「葉山町教育総合プラン」学びの「基本理念」の実現に向けて、多岐にわたる様々な取り組みが行われていることに、敬意を表します。そして、限られた予算規模の教育行政の中でも、学校や地域の要望に沿うように工夫をこらし、きめ細かく取り組んでこられた、教育委員会の皆さまに大きな拍手を送りたいと思います。

しかし、『評価』については、もう少し厳しさがあってもよいと感じるところがあります。耐震整備や環境整備（空調整備）に早急に取り組む必要があると思うからです。

ところで、昨今、人口減少時代に入ったと言われていますが、葉山には「葉山での子育て」を望んで、転居してくる世帯が多いように感じます。また、葉山で育て、他所で暮らして親になって帰ってくるケースもよくあります。また、基本理念の重点「特別支援教育を大切にしよう」の具現化された実践を我が子に受けさせたいと、転居してくる家庭もあるようです。

みなさん、本報告書の「はじめに」にあるように「海とみどりにひろがる交流文化のまち 葉山」での「人間的に豊かで幸福に生きていく」ために、葉山での暮らしを望んでいるのです。

したがって、本報告書から分かるように、多岐にわたる充実した実践があっても、保護者・地域からは教育行政・学校へ様々な要望が寄せられ、迅速な対応が求められがちになると思います。

今後も今まで以上に財政面のバックアップを受けて、「葉山町教育総合プラン」の具現化に向けてご尽力いただきたいと、エールを送ります。そして、その教育施策が、葉山で学ぶ人々にとって、心豊かで幸福に生きていくための礎になることを心から願っています。

1 教育委員会の活動内容について

- (1) 教育委員会会議の開催状況
- (2) 教育委員会会議での審議状況

(1)(2)について、12回の定例会及び1回の臨時会を開催し、随時研修会を実施しています。着実かつ滞りなく、事案の審議検討がなされています。

- (3) 教育委員会会議以外の活動状況

議会関係、校長会・教頭会、学校視察、各種行事等への計105回の出席及び参加が報告されています。その中で、各種行事・大会への参加が44回、また、学校視察、運動会等の学校訪問が13回行われています。現場を実際に見ることでより多くの情報が得られます。その上で、施策へのフィードバックがなされているものと評価できます。

2 教育総合プラン 学びの基本理念に基づく取組状況

基本理念 自立した人間をめざして

重点：	家庭教育を充実しよう	特別支援教育を大切にしよう
	幼児教育を充実しよう	健康生活を推進しよう
	学校教育を充実しよう	学びの場を充実しよう

【平成24年度の重点取組】

<教育総務課>

耐震整備事業

児童・生徒が使用している学校施設は、平成22年度に耐震補強工事が終了しているということは評価できます。一色小学校新館の工事を確実に完了させることと同時に、上山口小学校旧校舎の方向性を決定していただくことも急務です。さらに、学校の各種設備については、一切の懸念がなきように整備・点検を望みます。

<学校教育課>

町費教員の配置

これについては充実化が図られており、効果が現れています。小・中学校の

連携の推進を目的とした町費教員が2人配置され、配置方法に工夫がなされていることに今後の成果を期待します。合計人数が8人、主な教科が算数・数学、英語、理科等とありますが、現場の意見を取り入れつつさらなる増員等が必要であれば速やかに検討していただきたいです。

教育相談体制

スクールカウンセラー、心の教室相談員とともに、教育研究所に教育相談員を配置し、また、昨年度に引き続き県から派遣されたスクールソーシャルワークサポーターを配置とあり、より充実した教育相談体制を整えようとしています。また、いじめに関して、揺るぎない方針で取り組んでいることを評価します。

特別支援教育

きめこまやかで適切な指導、支援を行うための取り組みが評価できます。他機関との連携を深めていることも、適切な指導・支援のための良い方向性と言えます。

防災教育

葉山町学校防災計画を改定し、各学校で学校防災マニュアルを見直すとともに、山と海からなる葉山で想定され得るさまざまな訓練が実施されています。災害は予測できないからこそ、防災教育は不可欠です。避難所運営の面では、地域団体との連携を取り学校に過度な負担をかけないように配慮が必要です。

<生涯学習課・しおさい博物館>

「葉山町民大学」の開催(全5回)

生涯学習の場として地域に定着しています。今後も参加者からの要望に応えた興味深い企画立案を続けてください。

しおさい公園・博物館の充実

しおさい博物館展示解説及び学習支援

しおさい博物館学芸員実習

、 、 について、しおさい公園・博物館は葉山ならではの施設であり、有効活用を期待しています。開かれた博物館として児童・生徒への展示解説・自由研究相談等の継続を望みます。また、これらの施設は学術的かつ歴史的に価値があることはもちろんですが、これを来館者の視点で改革したことが評価できます。さらに数値目標を設定したことが好結果につながったと

思われます。

神奈川県立近代美術館葉山・山口蓬春記念館との合同見学会

このような2館で合同見学会ができるというのは貴重なことです。

<図書館>

ブックスタート

おはなし会

社会見学・職場体験学習

子ども育成課との連携による「ブックスタート」や、地道な活動である「おはなしコーナー」が幼児教育の充実に役立っています。また、小・中学生に学習の場を提供することも生涯学習施設として重要です。

基本理念 心豊かに共生できる人間をめざして

重点： 社会性を育てよう 学校間・校種間交流を促進しよう 地域・世代間交流を促進しよう 国際的な視野にたつ人間を育てよう

【平成24年度の重点取組】

<学校教育課>

小・中学校の連携

小学校6年生の卒業に先立つ中学校訪問、町立保育園児の小学校音楽授業での合奏など、校種間交流が行われています。

「わかる！算数教室」の開催

教育研究所と町費教員が協力し、小学校6年生を対象の「わかる！算数教室」に延べ165人が出席し、進学への不安感を払拭、好評を得たことは、小・中学校の連携を進める上での具体的指標となるのではないのでしょうか。

小学校外国語活動・中学校英語教育

授業研究や共通教材の作成等を行い、ALT派遣や小学校外国語活動サポーターの協力により、各学校で充実した授業が進められています。外国語に触れることは異なる価値観を知ることであり、国際的視野を育てることにつながります。また、より良い副教材開発をお願いします。

地域連携による学習の推進

地域の力を取り込んだ活動は学校への理解を深め、児童・生徒を見守っていただくことにもつながりますので、これからも推進を望みます。

<生涯学習課>

ジュニアキャンプ

子どもたちの自主性、協調性を育てるいい機会となっています。

各種生涯学習体験事業

学校外での様々な体験学習の場が工夫されています。

逗葉地区青少年音楽祭

5 中学校及び 2 高校が参加する音楽祭は、切磋琢磨するいい機会です。

スポーツ体験講座

24 年度は小中学生を対象に陸上競技、ソフトボール、剣道の体験講座が行われました。体力向上、健全育成の一環として継続してください。

ジュニアリーダー活動

青少年育成のための大切な活動です。

<図書館>

展示及び特集コーナーの資料紹介

エントランスコーナーや特集本棚での資料紹介、夏休みの小中学生向けの企画など「地域の情報の拠点」を意識しての取り組みがなされています。

基本理念 自然のあらゆることに思いを馳せ、感謝の念を持って
行動できる人間をめざして

重点： 身近な視点から環境を考える力をつけよう 自然環境を汚さない行動力をつけよう 地球・生命を愛する心を伝えよう

【平成 24 年度の重点取組】

<学校教育課>

環境教育

各学校の事情に合わせた実践的で多様な環境教育が漁業協同組合等諸団

体や地域の方々の協力を得て行われ、成果を見せています。また、児童・生徒自身による牛乳パックの解体・洗浄、「キエーロ」の設置など学校において具体的な取り組みがなされていることも評価できます。搬出する生ごみの量が減少していることが数字で明記されています。

<生涯学習課>

自然体験イベントの開催

文化財体験イベントの開催

芝崎ナチュラルリザーブ、長柄古墳群等に関して、幅広い対象への行事を企画開催し、多くの参加を得ています。「感謝の念をもてるモラルあふれた人間性の育成」へのアクションを期待しています。

基本理念 人類の進歩と発展に貢献できる人間をめざして

重点： 家庭から地域（葉山）へ、そして世界へ 社会変化に対応する力を育てよう 新たな教育にチャレンジしよう

【平成 24 年度の重点取組】

<学校教育課>

情報教育

児童・生徒に対する情報モラル教育の授業は不可欠ですので、外部機関と協力しつつ継続してください。

また、「三浦半島地区教育ネットワーク協議会」に、逗子市が加わり研究会や研修会が充実したとありますので、情報教育における新たな取り組みも期待されます。

デジタルテレビや電子黒板といった ICT 機器を有効に活用し、教育効果をさらに高めていただきたいと思います。

職場インタビュー・職場体験学習の実施

受け入れてくださる側に感謝しつつ、自立した社会人として成長するためのきっかけ作りを継続するよう望みます。

小中学校作品展

来場者 1,833 人ということからも作品発表の場であるとともに、他校の児童・生徒との交流、家族の交流、地域の交流の場として価値があることが分かります。

3 所感

「葉山町教育総合プラン」の4つの理念に沿って、重点を置く項目をあげて継続した取り組みが報告され、自己評価が行われていました。教育委員会としてなすべきことをなされた努力の結果がここにあるものと敬意を表します。そして、数々の事業の充実が報告されており、高く評価できます。ただ、行事等については担当する人々の負担と事業効果を見直し、従来の方法に固執しない柔軟な対応をしていただいでよいと思います。

葉山ならではの豊かな自然や人材を生かした教育が多く報告されていました。地域団体や住民の方々のご指導・協力してくださるのも心強い限りです。これも学校を中心とした地域との関係づくりのたまものでしょう。

一方、施設の老朽化について懸念されます。厳しい財政状況ではあるでしょうが、改修等の検討が必要と考えます。その過程で、施設利用の有料化も議論すべきかもしれません。

教育行政は、見識に支えられた継続的かつ発展的なものでなければなりません。また、サービスを提供する立場であることもその一面と言えるでしょう。保護者、町民、利用者の期待に応えられるようこの点検・評価を検証して課題を洗い出し、さらに尽力くださるよう望みます。

葉山町教育委員会委員（平成25年3月31日現在）

職 名	氏 名
委 員 長	鈴 木 伸 久
委員長職務代理者	山 崎 勝 美
委 員	遠 藤 麻 衣 子
委 員	小 峰 み ち 子
教 育 長	豊 田 茂 紀